

10 / 14

Thu

研究校 **長野市立櫻ヶ岡中学校**共同研究者 **渡辺貴裕**
(東京学芸大学 教職大学院 准教授)

授業づくりを中核に据えた 先生も生徒も輝く ウェルビーイングな学校づくりへの挑戦

昨年度、研究テーマを「探究する力を培う自己決定的学習の推進」と研究テーマに据え、学校全体で授業づくりに取り組んできた中、次年度への課題として次の4点が挙げられました。

- ・ 外部から客観的に研究を支えてくれる指導者の確保
- ・ 授業者にも参観者にも負担が少なく、楽しめて、意味のある研究
- ・ 教科間の壁を越えた同僚性の構築さくらがおか
- ・ 生徒にも保護者にも積極的に発信し、共に学校づくりを進めること

この課題を解決するには授業づくりの枠を超えた取組が糸口になると考えました。本年度、「全校研究」や「授業研究会」を「かがや木プロジェクト」と名前を変え、学校づくりの中核としての授業研究の充実を図ること、そして、そのプロセスで可能性を高める組織開発が進むことを願って、多くの先生方に協力してもらいながら推進してきました。模擬授業を授業公開の前（まえもぎ）や後（あともぎ）に行い、学び手の感覚を体験する授業研修会を行いました。従来の「授業目標の達成度を評価する」研究会から、より体験的・共感的アプローチへシフトし、模擬授業を通して「生徒の目線」を体感し、率直な感想を共有することで研究会の質を深めました。ここまで5学級が公開し、8名の先生方が主体的に模擬授業にチャレンジしてくれました。どの授業も「観る」のと「やる」のでは見え方が大きく変わり、教師のエンパシー（共感力）を高め、授業を生徒中心で考える感覚が磨かれました。研究会当日もいつも通り行っかがや木プロジェクトの1回を参観の先生方には体験していただき、ぜひ本校の学校づくり研究について、共に考えていただけたら幸いです。



共同研究者 渡辺先生から

先生方がチャレンジする学校では子どももチャレンジします。先生方が授業を楽しむ学校では子どもも授業を楽しみます。櫻ヶ岡中はまさにそうした学校。その様子から、私自身が刺激を受けてきました。当日は、参加者のみなさんとも一緒にそんな時間を過ごせたらと思います。



学び創造研究会

私たちと子どものあゆみ
Vol.2

～日程～

- ① 受付 8:20～8:40
- ② 研究説明 8:40～8:50
- ③ 授業公開 9:00～9:50
- ④ あともぎ 10:00～10:30
(授業参観をした会場で模擬授業で追体験)
- ⑤ 全体会 10:55～12:35
- ⑥ 解散 12:40